



有機リン問題 を考える

第4回 最終回

被害者、市民活動の立場から

2008年 **4月19日**(土) 午後1:30~4:30

会場 北とぴあ 7階・第二研修室
(東京都北区王子1-11-1、王子駅から徒歩。詳細裏面)

講師 辻 万千子さん(反農薬東京グループ)

参加費 一般1,000円 会員500円

定員 120人(先着順)

主催

化学物質問題市民研究会
(10周年記念事業)



終了後、午後6時から北とぴあ901会議室で交流会を予定しています

今、私たちの身の回りで使われている農薬の中で、一番ポピュラーなのが有機リン剤です。田んぼや畑、ゴルフ場、松くい虫防除、街路樹や公園、ガーデニング、家庭内で使う殺虫剤、防虫タタミ、シロアリ駆除等々。また、農薬だけではなく、プラスチックやワックスの可塑剤、カーテン・電子機器の難燃剤など、非常に広範囲に使われています。

現在使われている有機リン剤は、低毒性、分解が早く残留しない、慢性毒性がないから安全とPRされてきました。しかし、脳内の酵素の働きを阻害することによって、記憶障害、うつ、学習障害、視力障害、低体温、筋肉硬直、めまい等々さまざまな健康被害を引き起こすことが分かってきました。また、少しずつ長期間曝露される場合の慢性毒性も明らかになってきています。近年、増加してきている化学物質過敏症、シックハウス症候群の主要な原因物質でもあります。

このように、非常に深刻な影響を引き起こしている薬剤ですが、規制については国はわずかにクロルピリホスの住宅への使用を禁止したのみであり、自治体においては昨年、群馬県が全国に先駆けて空中散布自粛を呼びかけ、中止されたことしかありません。

化学物質問題市民研究会では、10周年記念事業の一環として、有機リン問題の解決を皆さんと一緒に考える連続講座全4回を企画しました。多くの方の参加をお待ちしています。

第3回までの紹介

〔開催日〕

- 第1回 2007年12月15日(土)
- 第2回 2008年2月16日(土)
- 第3回 2008年3月15日(土)

〔テーマ〕

- 第1回 「有機リンの基礎 — 毒性とメカニズム」
- 第2回 「有機リンの影響 — 臨床と最新の研究」
- 第3回 「有機リンへの群馬県の取組と研究成果」

〔講師〕

- 第1回・第2回 石川 哲さん(北里大学医学部名誉教授)
- 第3回 小澤邦寿さん(群馬県衛生環境研究所長)

※ ウェブサイトでも内容を紹介しています。ぜひご覧ください。(アドレスは下記)

申込み

e-メール、FAX、電話等で下記へお申し込み下さい。
先着順で受け付けいたします。
定員オーバーの場合のみご連絡します。

お願い

会場には化学物質過敏症の方や化学物質に敏感な方もいらっしゃいます。化粧品、香水、たばこ臭、整髪料、防虫剤、クリーニングしたての衣類等を避けるよう配慮をお願いいたします。

主催

&

申込み・問合せ先

〒136-0071 東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル4階 化学物質問題市民研究会
5836-4358 E-mail syasuma@tc4.so-net.ne.jp

<http://www.ne.jp/asahi/kagaku/pico/> ...▶ このチラシもダウンロードできます

化学物質問題市民研究会主催「有機リン連続講座」申込用紙(第4回)

お名前	
ご所属(あれば)	
ご住所	
Tel/Fax(あれば)	

※下にあてはまる方はチェックして下さい

- 化学物質問題市民研究会の会員
 第1回に参加した 第2回に参加した 第3回に参加した

会場案内

第4回【2008年4月19日(土)】

施設名 = 北とぴあ(ほくとぴあ、東京都北区の外郭団体の建物)

住所 東京都北区王子1-11-1

電話 03-5390-1105

駅 王子駅(JR京浜東北線、東京メトロ南北線)

- JR：北口から徒歩2分
メトロ：5番出口から直結
都電：停留所が少し遠いです

